

平成25年度第1回人間文化研究機構教育研究評議会 議事概要

○日 時：平成25年6月20日（木）10:00～12:00

○場 所：自然科学研究機構／情報・システム研究機構 合同会議室

○出席者：金田機構長、井上、今西、大塚、小野、カイザー、影山、岸上、木部、小松、佐藤（宗）、須藤、中尾、野家、平川、藤尾、森、安成の各評議員

○陪席者：栗城理事、石上理事、歴博管理部長、国文研管理部長、国語研管理部長、日文研管理部長、地球研管理部長、民博管理部長、本部事務局総務課長、同企画課長、同財務課長、同施設課長、同企画課課長補佐、同財務課課長補佐、同総務課総務係長、同企画課企画評価係長、同総務課総務係員

○概 要：

議事に先立ち、事務局から、定足数を満たしている旨の報告があり、配付資料の確認があった。また、機構長から、井上、岸上、藤尾、安成の各評議員の就任等について、紹介があった。

1. 議題

(議事概要)

(1) 前回議事概要について（資料1）

機構長から、平成24年度第3回教育研究評議会議事概要について、議事概要署名人に確認いただいた旨の報告があり、本評議会の同意を得た。

また、平成25年度第1回教育研究評議会の議事概要署名人として、木部評議員及びカイザー評議員が選出された。

(審議事項)

(1) 平成24事業年度に係る業務の実績に関する報告書について（資料2）

中尾理事から、資料2に基づき、平成24事業年度の全体的な実施状況、年度計画の進捗状況を上回り実施した取組及び共通の観点に係る取組状況等の説明があり、意見交換が行われた。森評議員から、「帰宅困難者対策」の標記に関する質問等があり、同一事項に関する標記の統一を図る等の修正を行うこととした。

なお、今後、本報告書に軽微な文言修正等がある場合は機構長に一任とし、国立大学法人評価委員会へ提出することが了承された。

(2) 連携研究について（資料3）

小野理事から、資料3に基づき、人間文化研究機構の連携研究に関する中間実績評価報告書の説明があり、意見交換が行われた。大塚評議員から、連携研究をしていくうえで外部機関の研究者との連携が重要であるとの意見があった。これに関連して、中尾評議員から、研究テーマの企画、採択、評価等については現在、機構内のメンバーにより組織されている企画・連携・広報室会議が担っているが、今後どのような委員会が本事業の推進体制を担うべきかについて意見照会があり、安成評議員から日本学会会議などの外部機関の研究者を含んだ委員会が望ましい旨の発言があった。また、今西評

議員から、各研究の成果は既に十分なものが出ており、あとはそのまとめ方・見せ方を工夫することが必要ではないかとの発言があり、機構長から今後検討をする旨の発言があった。

なお、本事業については、いただいた意見を踏まえながら、今後進めていくことが了承された。

(3) 日本関連在外資料調査研究事業について（資料4）

小野理事から、資料4に基づき、日本関連在外資料調査研究事業中間実績報告書の説明があり、意見交換が行われた。

なお、本事業については、本報告書の趣旨を踏まえ、今後の事業を進めていくことが了承された。

(4) 平成26年度概算要求について（資料5）

中尾理事から、資料5に基づき、平成26年度概算要求事項について説明があり、審議の結果、了承された。なお、今後、修正等がある場合は機構長に一任することとした。

(5) 経営協議会委員について（机上配付資料）

機構長から、机上配付資料に基づき、人間文化研究機構経営協議会規程第2条第4号委員（機構の役員又は職員以外の有識者）の退任に伴い、後任委員候補者に関する意見聴取が行われた。

(報告事項)

(1) 総合研究大学院大学入学者状況について（資料6）

小野理事から、資料6に基づき、総合研究大学院大学の入学者状況等について報告があった。

(2) 平成25年度人間文化研究機構公開講演会・シンポジウムについて（資料7）

石上理事から、資料7に基づき、平成25年度人間文化研究機構公開講演会・シンポジウムのテーマ、開催日等について報告があった。

(その他)

(1) 平成25年度人間文化研究機構教育研究評議会開催について

機構長から、平成25年度第2回及び第3回の教育研究評議会開催日程及び開催場所について確認がなされた。

以上、この教育研究評議会議事概要を確認し、以下に署名捺印する。

平成25年8月1日

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

署名人 評議員 木部 暢子

署名人 評議員 カイザー シュテファン